

2020年基準改定による 世帯消費動向指数（CTIミクロ）の 改善効果について

令和5年6月23日

総務省統計局

目次

1. 今回の分析の目的
2. 世帯主の年齢階級別誤差率
 1. 区分別ウエイト、合成金額及び誤差率の比較
 2. コロナ禍の行動制限等の影響
 3. 年平均誤差率の推移
3. まとめ

目次

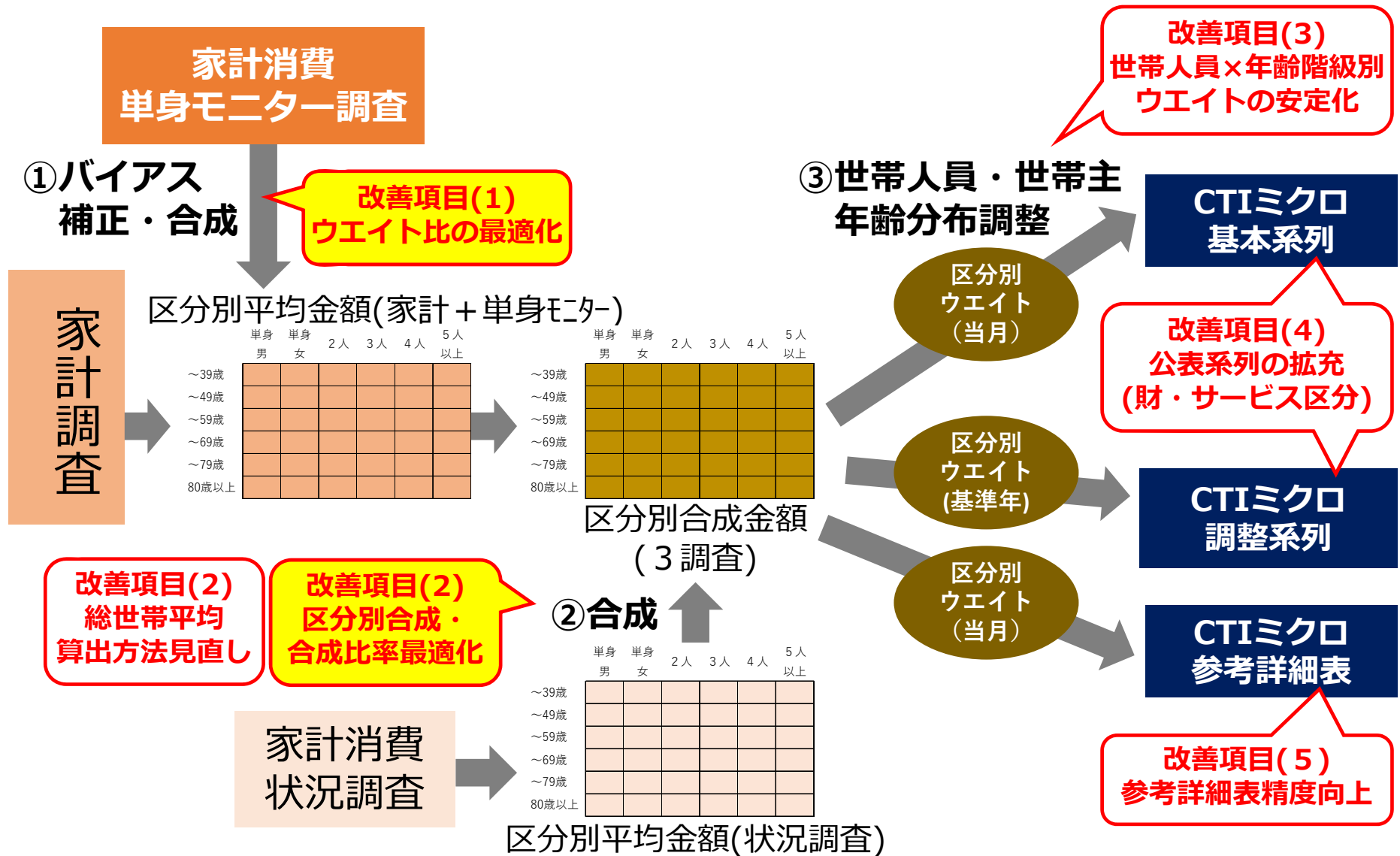
1. 今回の分析の目的

2. 世帯主の年齢階級別誤差率

1. 区分別ウエイト、合成金額及び誤差率の比較
2. コロナ禍の行動制限等の影響
3. 年平均誤差率の推移

3. まとめ

CTI ミクロ 2020年基準改定のポイント




➡ 改善項目(1)及び(2)において、ウェイト比等を最適化することにより、総世帯及び単身世帯の誤差率の改善を図った

2015年基準と2020年基準の誤差率の比較

10大費目別 月次 標準誤差率※ - 2020年平均 - (%)

	総世帯			二人以上の世帯			単身世帯			家計調査(二人以上の世帯)	
	2015年 基準	2020年 基準	差分	2015年 基準	2020年 基準	差分	2015年 基準	2020年 基準	差分		参考.公表値
消費支出	1.0	0.9	-0.1	0.9	0.9	0.0	2.4	2.1	-0.3	1.3	1.3
食料	0.7	0.6	-0.1	0.7	0.7	0.0	1.7	1.6	-0.1	0.7	-
住居	3.8	3.5	-0.3	4.3	4.3	0.0	6.3	5.8	-0.5	7.7	-
光熱・水道	0.9	0.8	-0.1	0.9	0.9	0.0	2.2	1.9	-0.3	0.9	-
家具・家事用品	2.8	2.4	-0.4	2.5	2.6	0.1	7.5	6.3	-1.2	4.1	-
被服及び履物	2.6	2.7	0.1	2.7	2.9	0.2	7.2	6.9	-0.3	3.2	-
保健医療	2.7	2.8	0.1	2.8	3.1	0.3	6.8	6.4	-0.4	3.3	-
交通・通信	3.5	3.0	-0.5	3.0	3.3	0.3	8.3	7.4	-0.9	5.5	-
教育	4.7	3.9	-0.8	3.9	3.9	0.0	-	-	-	8.6	-
教養娯楽	1.8	1.7	-0.1	1.7	1.9	0.2	4.2	3.6	-0.6	2.3	-
その他の消費支出	2.3	2.1	-0.2	1.9	2.0	0.1	6.4	6.0	-0.4	2.6	-


 総世帯、単身世帯で、おおむねすべての項目が改善している。
 二人以上の世帯の、「保健医療」、「交通・通信」及び「教養娯楽」の誤差については、緊急事態宣言など、コロナ禍の行動制限等の影響を受けた可能性がある。

※ 消費統計研究会 第19回(2022年度第1回) 資料1「2020年基準 世帯消費動向指数(CTIミクロ)の分析」より抜粋。
 単純なブートストラップ法により算出した2020年1月から12月までのそれぞれの標準誤差率を単純平均したもの

今回の分析の目的

2015年基準及び2020年基準について月次の誤差率（2020年平均）を算出※¹したところ、調査の合成比率を最適化したことなどにより、結果精度の改善の効果が見られた。

なお、二人以上の世帯の「保健医療」、「交通・通信」、「教養娯楽」については、コロナ禍による行動制限等が誤差に影響を与えており、行動制限等が弱まる2021年以降は誤差が改善する可能性が考えられた。

また、区分別ウエイトの安定性を改善したことに伴い、若年層のウエイトが拡大したため、若年層の誤差が全年齢平均に与える影響が強くなったことが考えられた。

そこで、今回は、世帯主の年齢階級別の誤差率を算出して※²、両基準について世帯の種類別に比較するとともに、誤差の推移を概観して、コロナ禍の行動制限等の影響を確認することとした。

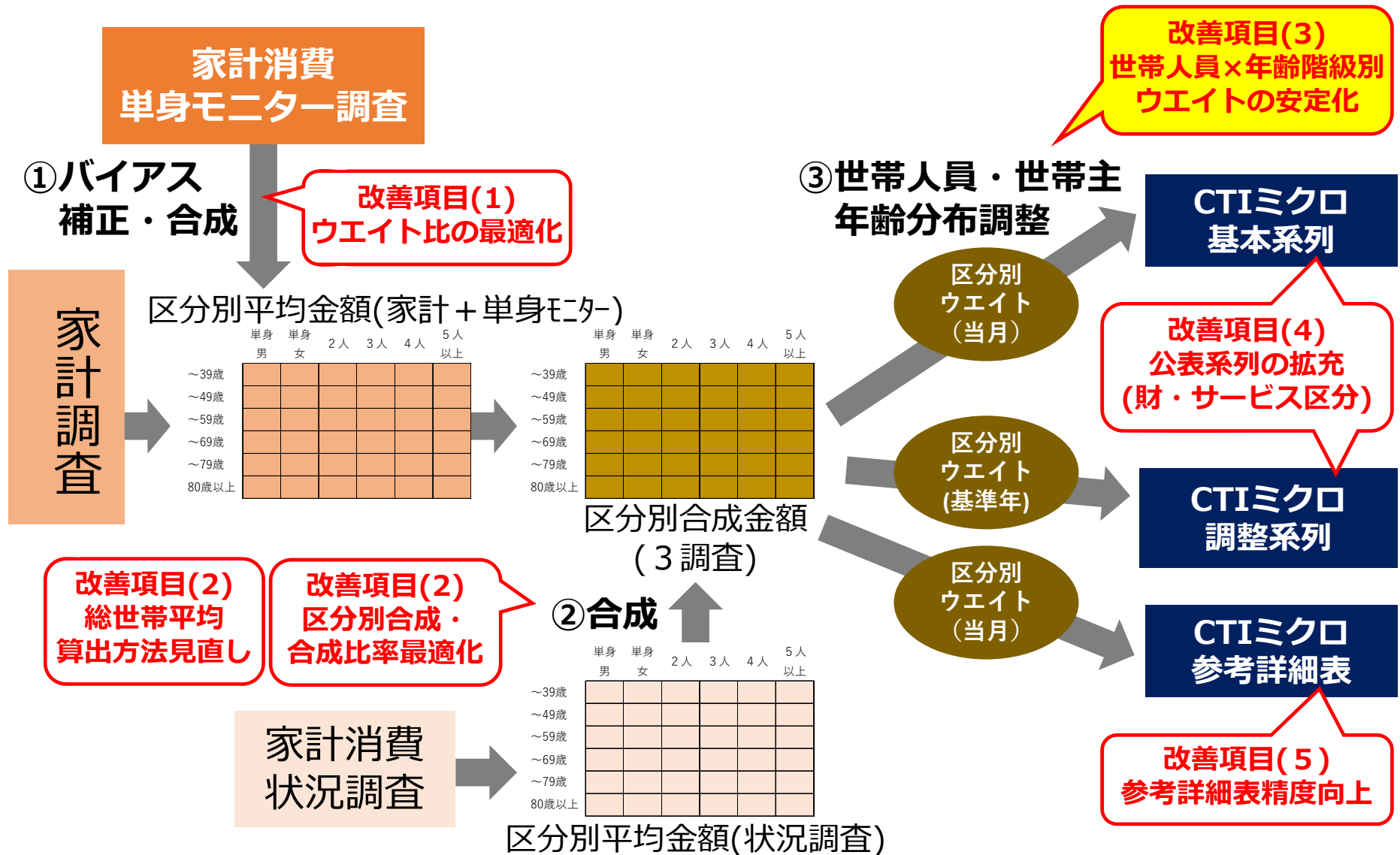
※¹ 2種類のブートストラップ法（単純なブートストラップ、リスケーリング ブートストラップ）による結果を試算し、CTIミクロの誤差推定に使用するブートストラップ法は、単純なブートストラップ法で実用上問題ないことを確認した。

※² 単純なブートストラップにより算出。ブートストラップ回数は1,000回とした。

目次

1. 今回の分析の目的
2. 世帯主の年齢階級別誤差率
 1. 区分別ウエイト、合成金額及び誤差率の比較
 2. コロナ禍の行動制限等の影響
 3. 年平均誤差率の推移
3. まとめ

CTI ミクロ 2020年基準改定のポイント

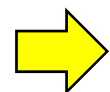


➡ 改善項目(3)において、労働力調査の世帯数(後方12か月平均)をウェイトとすることで、月次の世帯人員×年齢階級別ウェイトの安定性を向上

区分別ウエイトの比較 - 単身世帯 -

世帯主の年齢階級別 世帯数分布（万分比）の推移 - 単身世帯 -

	2020年基準					差分（2020年基準 - 2015年基準）				
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～
2020年 1月	2,351	1,133	1,329	1,500	3,688	304	208	-322	19	-210
2月	2,353	1,131	1,333	1,491	3,693	131	104	-95	114	-254
3月	2,365	1,131	1,332	1,483	3,691	52	126	-147	203	-234
4月	2,383	1,129	1,331	1,474	3,684	39	88	-70	175	-231
5月	2,400	1,122	1,333	1,462	3,683	-47	222	-129	59	-104
6月	2,416	1,119	1,335	1,456	3,674	-12	201	-13	0	-176
7月	2,422	1,122	1,332	1,446	3,677	163	79	-3	-135	-103
8月	2,428	1,123	1,330	1,434	3,685	253	16	-28	-104	-137
9月	2,439	1,117	1,325	1,430	3,689	328	-7	-118	-44	-158
10月	2,448	1,119	1,323	1,426	3,684	355	11	-179	-46	-141
11月	2,450	1,121	1,323	1,421	3,686	332	93	-198	-100	-126
12月	2,452	1,120	1,326	1,412	3,690	148	232	-121	-166	-94
2020年平均	2,409	1,124	1,329	1,453	3,685	170	114	-118	-2	-164

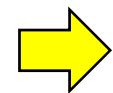


改善項目(3)の改善に伴い、単身世帯では、主に39歳以下及び40～49歳の世帯のウエイトが大きくなっている

合成金額の比較 - 単身世帯 -

世帯主の年齢階級別 月次 合成金額 - 単身世帯、2020年平均 - (円)

	2020年基準						差分 (2020年基準 - 2015年基準)					
	平均	~39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳~	平均	~39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳~
消費支出	154,965	146,344	176,155	176,299	170,352	140,351	-54	-4,480	-1,228	1,433	-413	2,680
食料	39,844	36,405	39,379	40,488	43,097	40,726	-211	-143	-1,068	-128	154	-19
住居	21,246	29,541	30,912	23,236	19,668	12,780	765	177	984	934	512	394
光熱・水道	11,268	7,872	10,982	10,964	12,199	13,309	-136	182	-120	-250	-277	9
家具・家事用品	5,761	4,812	5,520	5,905	6,707	6,034	-182	-543	-377	-354	-458	298
被服及び履物	4,534	5,643	5,393	4,664	4,290	3,595	-38	-112	51	-507	-230	103
保健医療	7,254	4,590	6,182	7,636	8,844	8,559	-58	92	43	-304	-327	190
交通・通信	22,232	22,763	31,389	28,725	27,486	14,675	-80	-2,564	769	436	428	731
教育	388	159	1,127	1,091	217	126	-23	-730	213	638	40	35
教養娯楽	16,839	17,809	18,475	20,806	20,839	12,687	208	-211	123	635	638	20
その他の消費支出	25,601	16,750	26,795	32,785	27,005	27,859	-298	-628	-1,846	334	-892	918



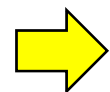
単身世帯では、「住居」、「交通・通信」及び「教育」で、年齢階級別の合成金額の違いが大きい※

※ 年齢階級別合成金額の、最大と最小の比が2倍以上

誤差率の比較 - 単身世帯 -

世帯主の年齢階級別 月次 標準誤差率※1 - 単身世帯、2020年平均 - (%)

	2020年基準						差分 (2020年基準 - 2015年基準)					
	平均	～39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳～	平均	～39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳～
消費支出	2.1	3.2	6.9	4.9	4.4	3.9	-0.3	-2.3	0.4	-0.1	0.0	0.1
食料	1.6	2.9	4.1	3.8	3.6	3.0	-0.1	-0.5	-0.8	-0.7	0.1	0.0
住居	5.8	4.5	11.9	12.4	17.1	15.6	-0.5	-2.5	0.1	2.6	0.7	-0.3
光熱・水道	1.9	3.8	6.5	4.5	3.2	3.4	-0.3	-1.1	-0.7	-0.7	-0.3	0.0
家具・家事用品	6.3	14.1	18.9	14.9	11.4	10.1	-1.2	-5.6	-0.8	-2.9	-0.8	-0.2
被服及び履物	6.9	11.6	19.7	14.7	12.1	12.7	-0.3	-1.9	-2.4	-1.9	-0.5	0.0
保健医療	6.4	12.8	14.1	12.7	11.6	10.8	-0.4	-1.7	-1.1	-5.4	-1.1	0.1
交通・通信	7.4	10.7	19.1	12.2	15.3	11.4	-0.9	-5.3	2.3	-0.4	0.5	1.4
教育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教養娯楽	3.6	7.8	10.9	8.8	6.9	6.1	-0.6	-3.3	-0.5	-1.6	-0.4	-0.1
その他の消費支出	6.0	7.7	12.0	10.9	9.7	12.2	-0.4	-2.8	-2.5	-3.2	-0.2	0.8



改善項目(1) 及び(2)の改善※2により、単身世帯では、おおむねすべての年齢階級で改善傾向が見られ、そのうち39歳以下の誤差率が最も改善している

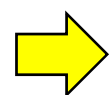
※1 単純なブートストラップ法により算出した2020年1月から12月までのそれぞれの標準誤差率を単純平均したもの

※2 「食料」及び「光熱・水道」については、改善項目(2)の影響は含まれない

区分別ウエイトの比較 - 総世帯 -

世帯主の年齢階級別 世帯数分布（万分比）の推移 - 総世帯 -

	2020年基準					差分（2020年基準 - 2015年基準）				
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～
2020年 1月	1,763	1,684	1,669	1,789	3,095	299	108	-7	-133	-267
2月	1,762	1,684	1,672	1,780	3,103	194	129	62	-63	-322
3月	1,764	1,683	1,675	1,772	3,107	206	111	87	-60	-344
4月	1,770	1,682	1,676	1,763	3,109	184	84	152	-86	-333
5月	1,775	1,680	1,678	1,754	3,113	178	90	142	-117	-293
6月	1,778	1,678	1,679	1,746	3,118	214	88	189	-145	-345
7月	1,777	1,676	1,681	1,739	3,127	296	43	188	-211	-315
8月	1,778	1,674	1,682	1,732	3,134	319	16	184	-180	-339
9月	1,780	1,670	1,682	1,725	3,143	335	26	122	-133	-349
10月	1,783	1,666	1,682	1,720	3,149	356	37	63	-106	-350
11月	1,784	1,663	1,682	1,713	3,158	367	119	24	-172	-338
12月	1,786	1,659	1,684	1,706	3,165	288	187	41	-237	-279
2020年平均	1,775	1,675	1,679	1,745	3,127	270	86	104	-137	-323

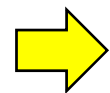


改善項目(3)の改善に伴い、総世帯では、39歳以下、40～49歳及び50～59歳の世帯のウエイトが大きくなっている

合成金額の比較 - 総世帯 -

世帯主の年齢階級別 月次 合成金額 - 総世帯、2020年平均 - (円)

	2020年基準						差分 (2020年基準 - 2015年基準)					
	平均	~39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳~	平均	~39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳~
消費支出	248,191	218,786	291,576	302,816	264,784	203,091	2,259	4,440	-6,455	8,604	1,248	1,344
食料	66,719	54,527	73,046	73,723	73,414	62,764	500	1,218	-2,245	2,226	505	1,157
住居	20,073	29,129	22,605	19,860	18,514	14,558	580	1,422	1,102	-55	-22	-183
光熱・水道	18,321	13,637	19,188	19,743	20,097	18,758	113	500	-483	515	111	432
家具・家事用品	11,272	9,999	12,587	12,707	12,758	9,697	19	73	-513	328	-41	105
被服及び履物	8,075	8,960	11,003	9,896	7,825	5,169	203	352	-380	202	-4	76
保健医療	12,249	8,985	10,851	12,428	14,705	13,391	30	717	-18	281	10	153
交通・通信	40,423	39,138	50,584	54,327	45,557	25,384	499	-26	-815	2,191	570	-364
教育	8,727	3,714	21,263	22,146	3,159	761	388	-597	-1,838	1,756	383	132
教養娯楽	23,163	22,902	28,895	27,386	24,606	17,174	274	96	-697	554	302	-12
その他の消費支出	39,169	27,796	41,554	50,601	44,150	35,435	-346	684	-569	605	-567	-151



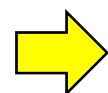
総世帯では、「住居」などの費目で、年齢階級別の合成金額の違いが大きい※

※ 年齢階級別合成金額の、最大と最小の比が2倍以上 12

誤差率の比較 - 総世帯 -

世帯主の年齢階級別 月次 標準誤差率※1 - 総世帯、2020年平均 - (%)

	2020年基準						差分 (2020年基準 - 2015年基準)					
	平均	~39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳~	平均	~39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳~
消費支出	0.9	2.6	1.9	1.8	1.7	1.6	-0.1	-1.5	0.0	-0.3	-0.2	-0.1
食料	0.6	1.8	1.4	1.5	1.4	1.2	-0.1	-0.4	-0.4	-0.4	-0.2	-0.1
住居	3.5	4.8	7.7	8.6	9.2	8.1	-0.3	-1.4	0.7	0.1	-0.3	0.1
光熱・水道	0.8	2.3	2.0	2.1	1.7	1.5	-0.1	-0.7	-0.2	-0.3	-0.1	-0.1
家具・家事用品	2.4	6.9	4.7	4.8	5.1	4.6	-0.4	-3.9	-0.3	-0.4	-0.4	0.1
被服及び履物	2.7	7.1	5.2	5.7	5.4	6.2	0.1	0.3	0.0	0.4	0.0	0.3
保健医療	2.8	9.5	5.4	5.9	5.5	4.7	0.1	1.0	-0.1	-1.0	0.1	0.1
交通・通信	3.0	9.8	6.8	5.7	5.6	5.2	-0.5	-3.8	0.2	-0.5	-0.3	-0.1
教育	3.9	9.2	5.2	7.0	18.0	26.7	-0.8	-8.8	-0.2	1.0	-0.6	1.8
教養娯楽	1.7	5.6	3.5	3.7	2.9	2.8	-0.1	-2.0	0.1	0.0	-0.1	0.1
その他の消費支出	2.1	5.5	3.7	4.1	3.8	4.7	-0.2	-1.4	-0.1	-1.4	-0.2	0.0



改善項目(1) 及び(2)の改善※2により、総世帯では、おおむねすべての年齢階級で改善傾向が見られ、そのうち39歳以下の誤差率が最も改善している

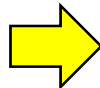
※1 単純なブートストラップ法により算出した2020年1月から12月までのそれぞれの標準誤差率を単純平均したもの

※2 「食料」及び「光熱・水道」については、改善項目(2)の影響は含まれない

区分別ウエイトの比較 - 二人以上の世帯 -

世帯主の年齢階級別 世帯数分布（万分比）の推移 - 二人以上の世帯 -

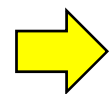
	2020年基準					差分（2020年基準 - 2015年基準）				
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～
2020年 1月	1,488	1,942	1,828	1,924	2,818	330	24	139	-229	-263
2月	1,485	1,942	1,831	1,916	2,826	261	111	125	-173	-324
3月	1,482	1,942	1,836	1,907	2,832	323	71	190	-217	-368
4月	1,481	1,942	1,839	1,899	2,838	297	50	249	-242	-353
5月	1,480	1,943	1,841	1,892	2,844	336	-14	265	-228	-359
6月	1,475	1,943	1,843	1,884	2,855	374	-6	275	-240	-402
7月	1,470	1,939	1,847	1,879	2,865	405	-10	269	-269	-396
8月	1,467	1,937	1,851	1,874	2,871	395	-18	277	-239	-415
9月	1,464	1,936	1,853	1,867	2,881	379	10	230	-199	-420
10月	1,462	1,930	1,855	1,861	2,892	395	19	173	-155	-432
11月	1,463	1,924	1,855	1,854	2,903	424	103	123	-228	-422
12月	1,465	1,919	1,857	1,848	2,912	402	132	109	-292	-350
2020年平均	1,474	1,937	1,845	1,884	2,861	360	39	202	-226	-375


 改善項目(3)の改善に伴い、二人以上の世帯では、39歳以下、40～49歳及び50～59歳の世帯のウエイトが大きくなっている

合成金額の比較 - 二人以上の世帯 -

世帯主の年齢階級別 月次 合成金額 - 二人以上の世帯、2020年平均 - (円)

	2020年基準						差分 (2020年基準 - 2015年基準)					
	平均	～39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳～	平均	～39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳～
消費支出	292,509	275,005	323,418	346,143	299,406	241,498	-1,141	-5,395	-9,752	-4,036	843	1,330
食料	79,501	68,625	82,339	85,108	84,530	76,255	-697	-2,739	-2,843	-903	536	1,413
住居	19,516	28,804	20,316	18,702	18,091	15,647	756	2,970	996	183	-36	-165
光熱・水道	21,670	18,093	21,450	22,748	22,991	22,095	-166	-832	-651	-250	272	570
家具・家事用品	13,895	14,040	14,534	15,038	14,977	11,939	-63	-537	-538	-144	21	138
被服及び履物	9,757	11,532	12,548	11,688	9,122	6,132	128	-225	-562	-145	54	76
保健医療	14,624	12,398	12,140	14,069	16,854	16,349	-179	-123	-82	-40	55	192
交通・通信	49,070	51,817	55,878	63,099	52,179	31,940	-32	-1,590	-1,745	-204	-62	-730
教育	12,690	6,476	26,819	29,354	4,238	1,149	108	-1,404	-2,452	-426	378	195
教養娯楽	26,172	26,864	31,772	29,640	25,989	19,920	-99	-565	-1,195	-398	-82	-87
その他の消費支出	45,614	36,358	45,624	56,699	50,435	40,072	-898	-347	-679	-1,707	-294	-271



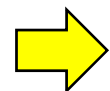
二人以上の世帯では、「被服及び履物」及び「教育」で、年齢階級別の合成金額の違いが大きい※

※ 年齢階級別合成金額の、最大と最小の比が2倍以上 15

誤差率の比較 - 二人以上の世帯 -

世帯主の年齢階級別 月次 標準誤差率※ - 二人以上の世帯、2020年平均 - (%)

	2020年基準						差分 (2020年基準 - 2015年基準)					
	平均	~39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳~	平均	~39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70歳~
消費支出	0.9	3.4	1.9	2.0	1.9	1.6	0.0	0.5	0.1	-0.1	0.0	0.0
食料	0.7	2.2	1.5	1.7	1.5	1.3	0.0	0.1	0.0	-0.1	-0.1	0.0
住居	4.3	7.7	8.9	10.6	10.4	9.2	0.0	-0.9	0.1	0.4	0.0	0.5
光熱・水道	0.9	2.7	2.0	2.3	1.9	1.7	0.0	-0.1	-0.1	-0.2	-0.1	0.1
家具・家事用品	2.6	7.4	4.7	5.0	5.7	4.9	0.1	1.1	0.1	-0.3	-0.1	0.3
被服及び履物	2.9	8.5	5.1	6.2	6.0	6.9	0.2	1.8	0.2	0.5	0.1	0.8
保健医療	3.1	11.0	5.8	6.6	5.8	4.8	0.3	2.2	0.1	-0.9	0.2	0.1
交通・通信	3.3	11.9	6.9	6.1	5.8	5.6	0.3	1.0	0.1	-0.6	-0.1	0.0
教育	3.9	8.6	5.2	6.9	18.1	27.4	0.0	1.0	0.2	0.5	0.4	2.3
教養娯楽	1.9	7.2	3.5	4.0	3.1	3.0	0.2	1.2	0.1	0.3	0.0	0.2
その他の消費支出	2.0	6.7	3.8	4.1	4.1	4.1	0.1	1.3	0.0	-1.3	0.0	0.2



39歳以下は誤差率が拡大しているものの、改善している区分も見られる

※ 単純なブートストラップ法により算出した2020年1月から12月までのそれぞれの標準誤差率を単純平均したもの 16

目次

1. 今回の分析の目的

2. 世帯主の年齢階級別誤差率

1. 区分別ウエイト、合成金額及び誤差率の比較

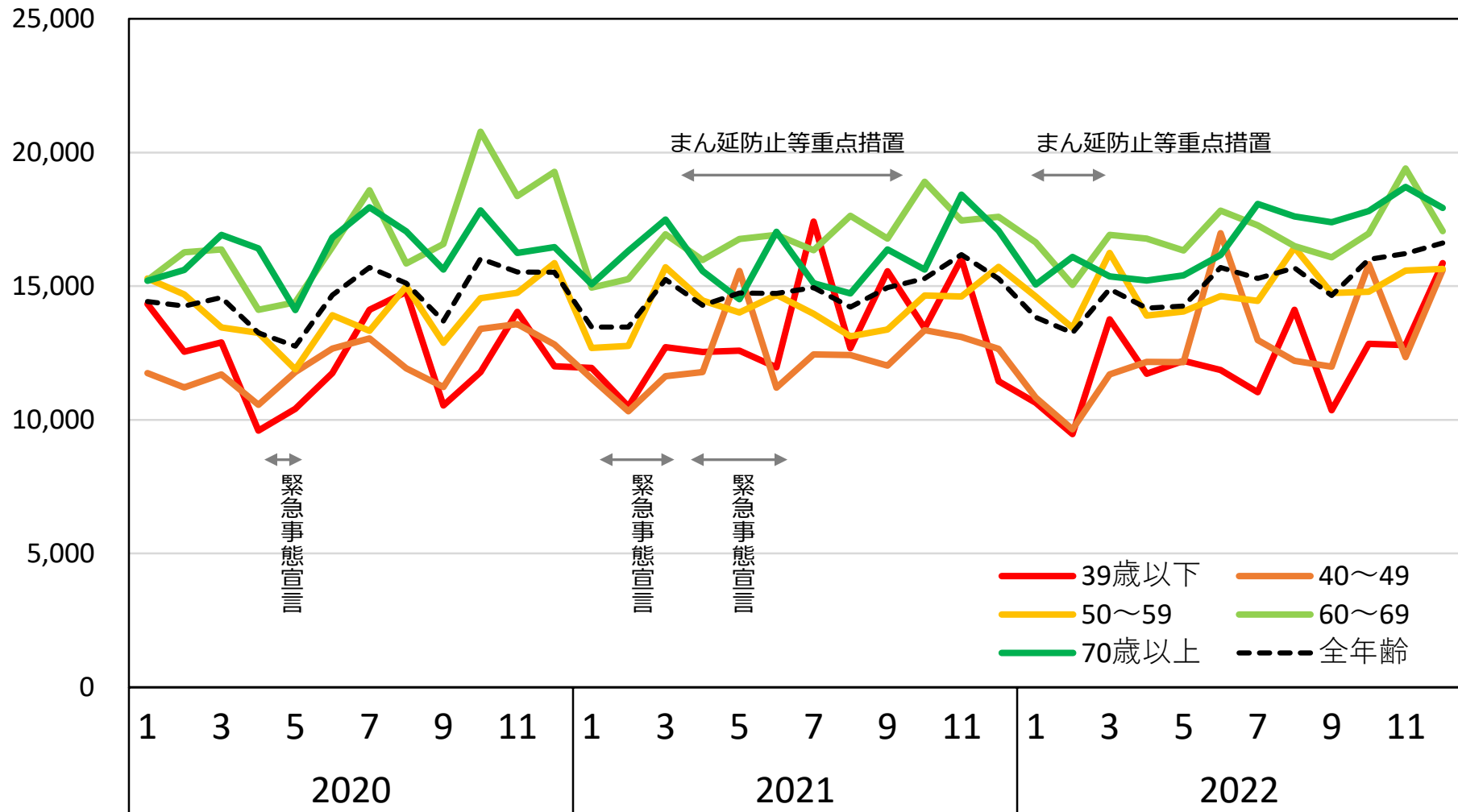
2. コロナ禍の行動制限等の影響

3. 年平均誤差率の推移

3. まとめ

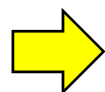
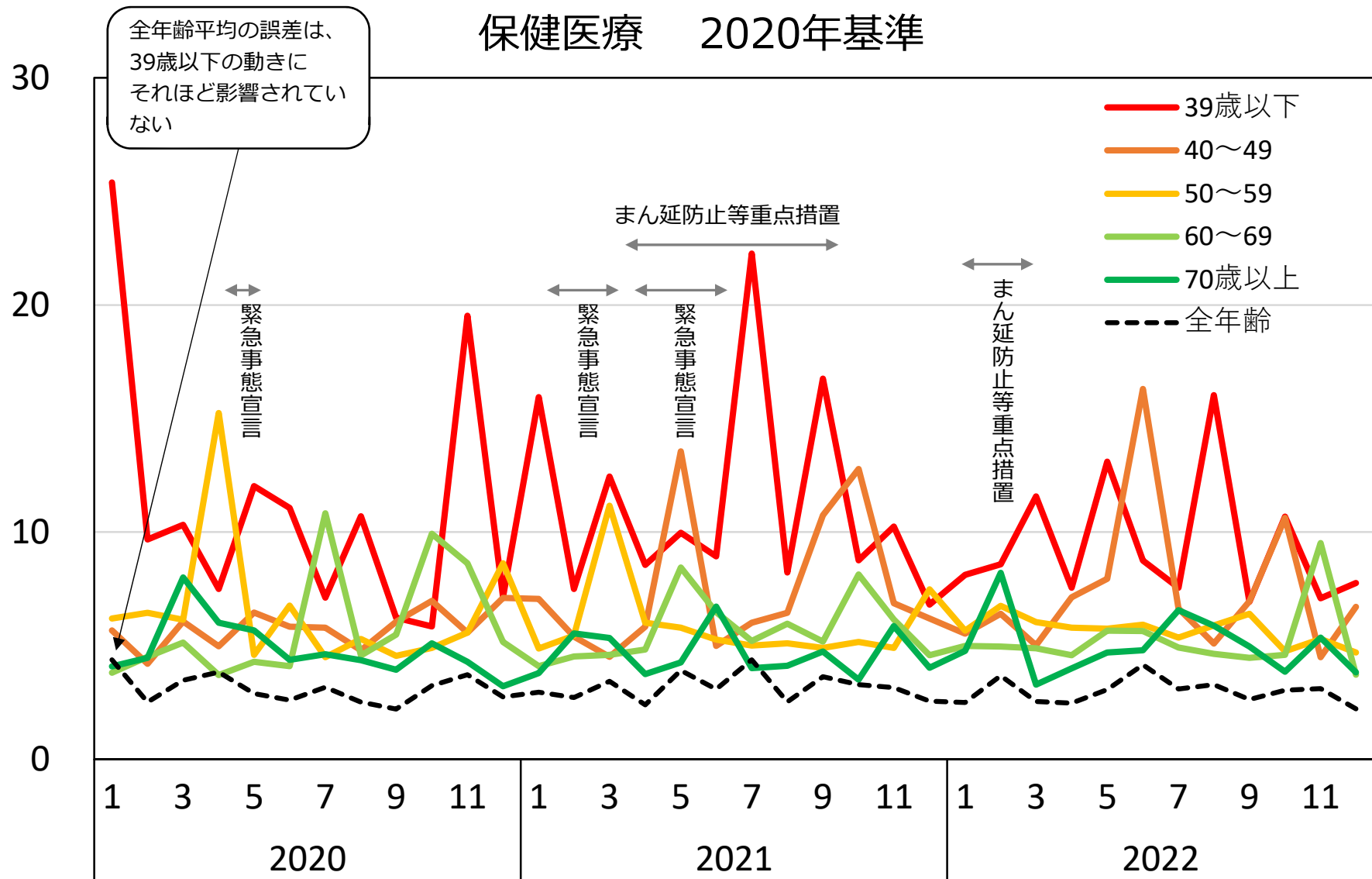
年齢階級別 合成金額（円） - 二人以上の世帯 -

保健医療 2020年基準



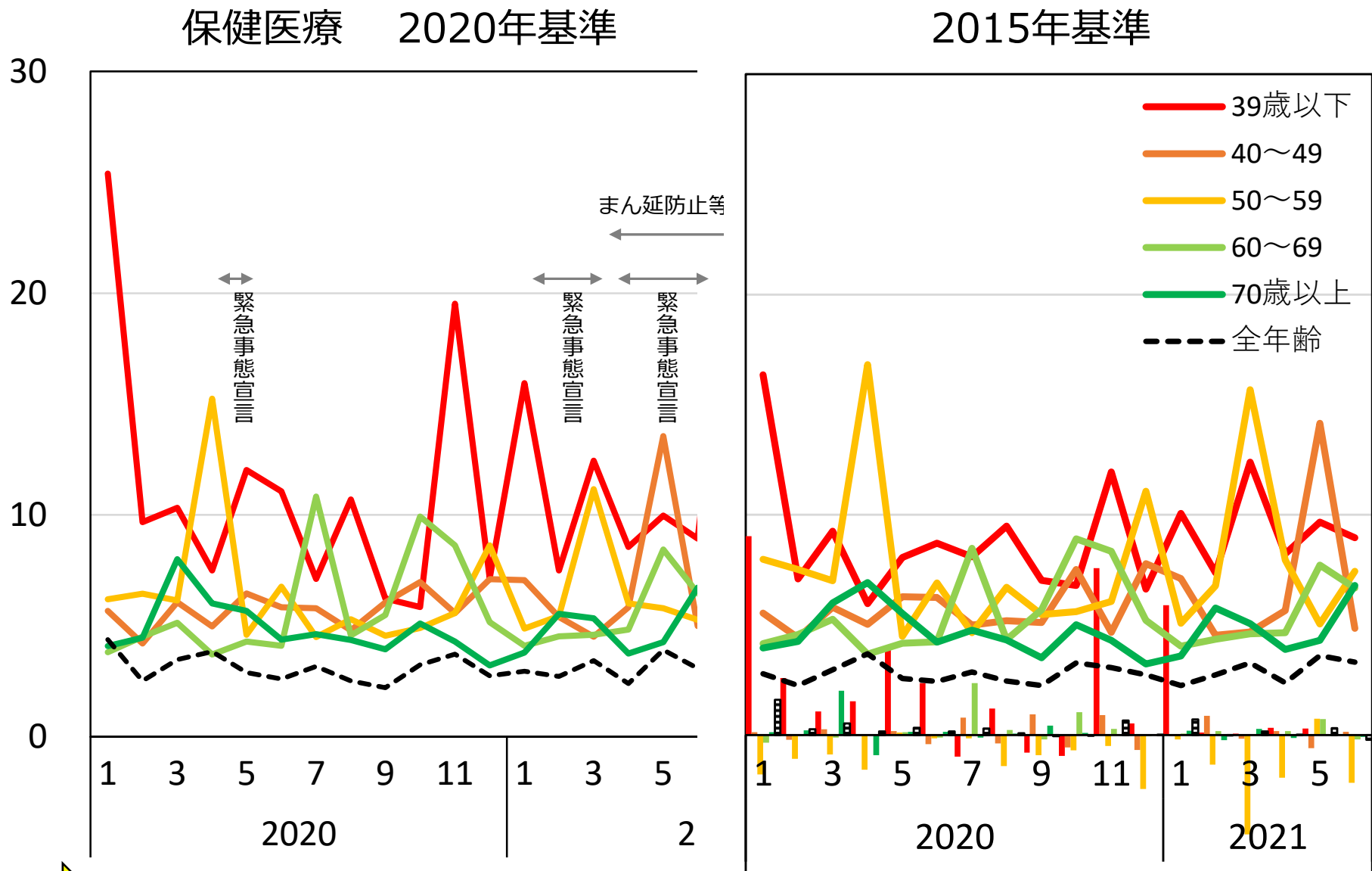
➡ 39歳以下及び40~49歳の合成金額は、他の年齢階級と比べて低い傾向が見られる

年齢階級別 標準誤差率 (%) - 二人以上の世帯 -



緊急事態宣言等と連動して誤差は拡大しておらず、コロナ禍の行動制限等の影響といえる動きは見られない

年齢階級別 標準誤差率 (%) - 二人以上の世帯 -

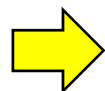
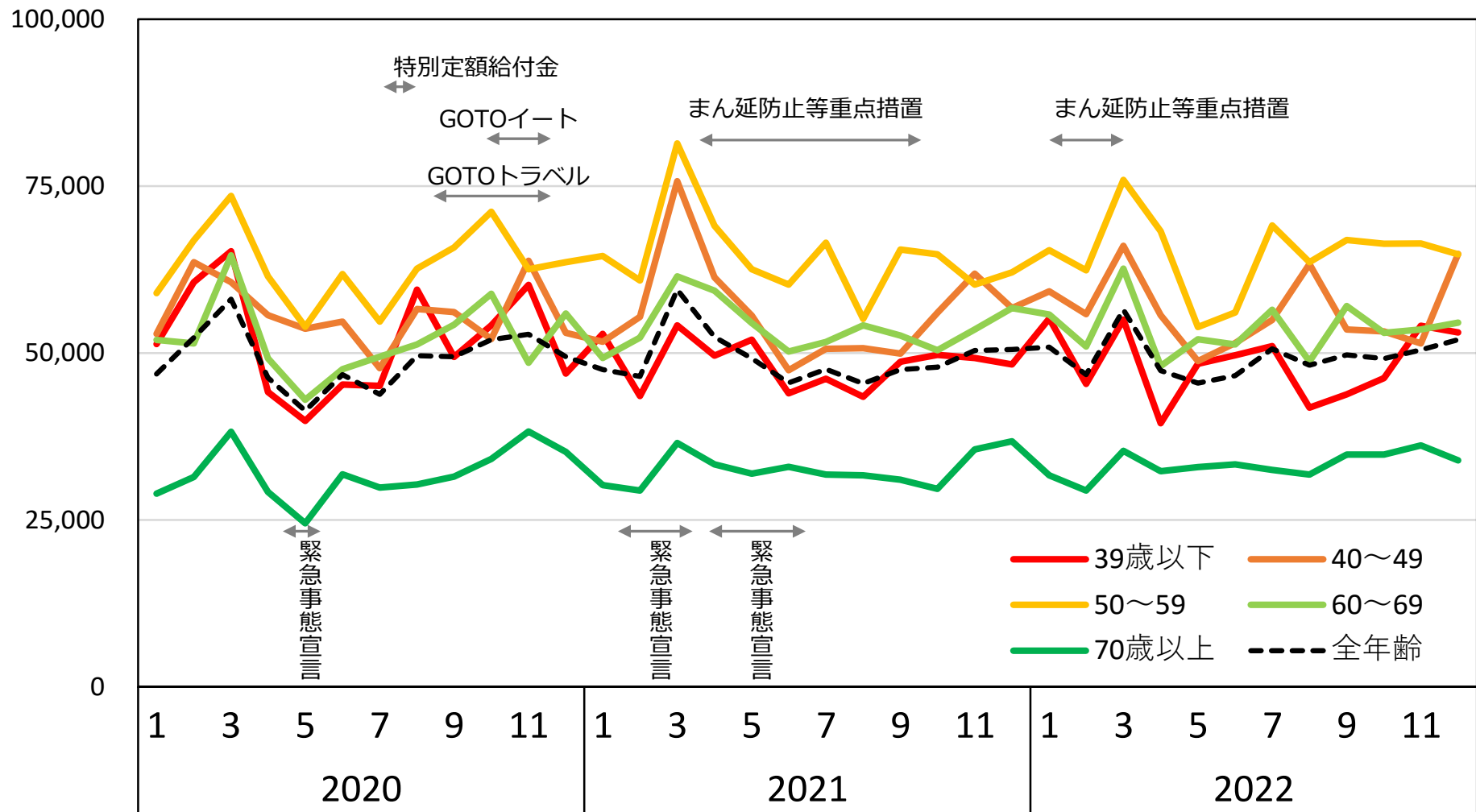


➡ 2021年2月分以降、新旧基準の間に大きな差は見られない

※ 棒グラフは差分 (2020年基準 - 2015年基準)

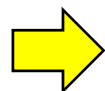
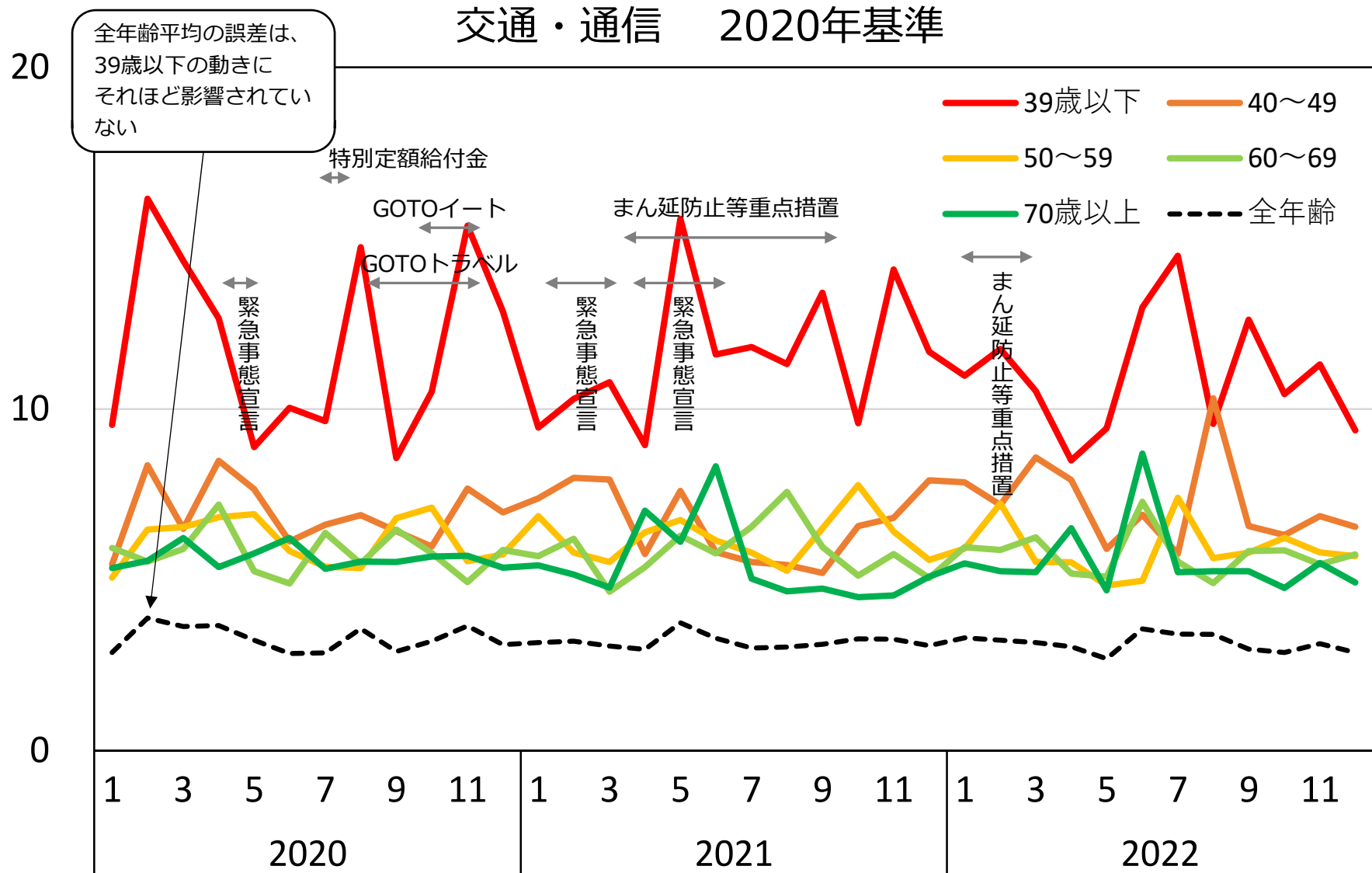
年齢階級別 合成金額（円） - 二人以上の世帯 -

交通・通信 2020年基準



70歳以上の合成金額は、他の年齢階級と比べて低い

年齢階級別 標準誤差率 (%) - 二人以上の世帯 -

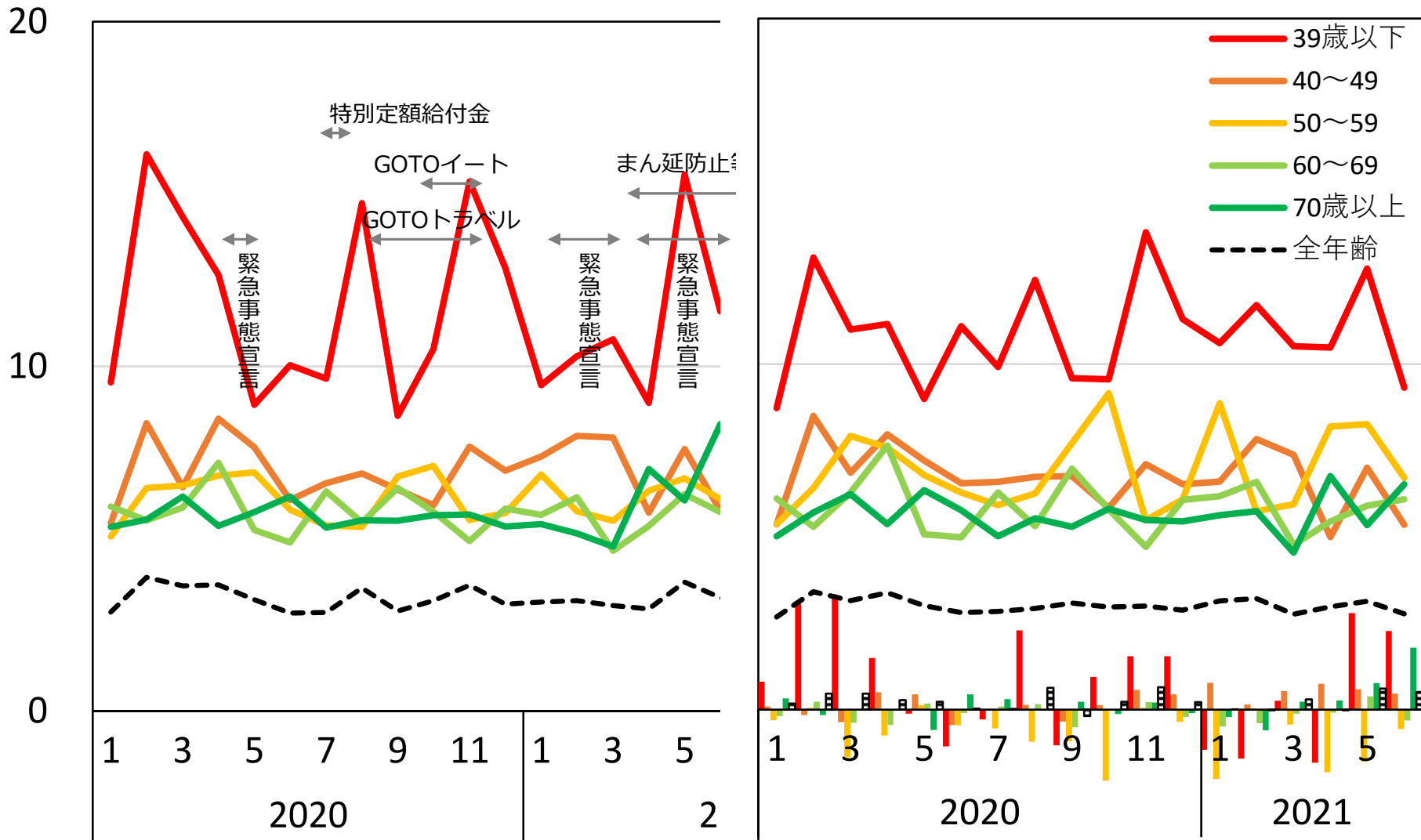


緊急事態宣言等と連動して誤差は拡大しておらず、コロナ禍の行動制限等の影響といえる動きは見られない

年齢階級別 標準誤差率 (%) - 二人以上の世帯 -

交通・通信 2020年基準

2015年基準

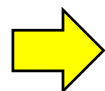
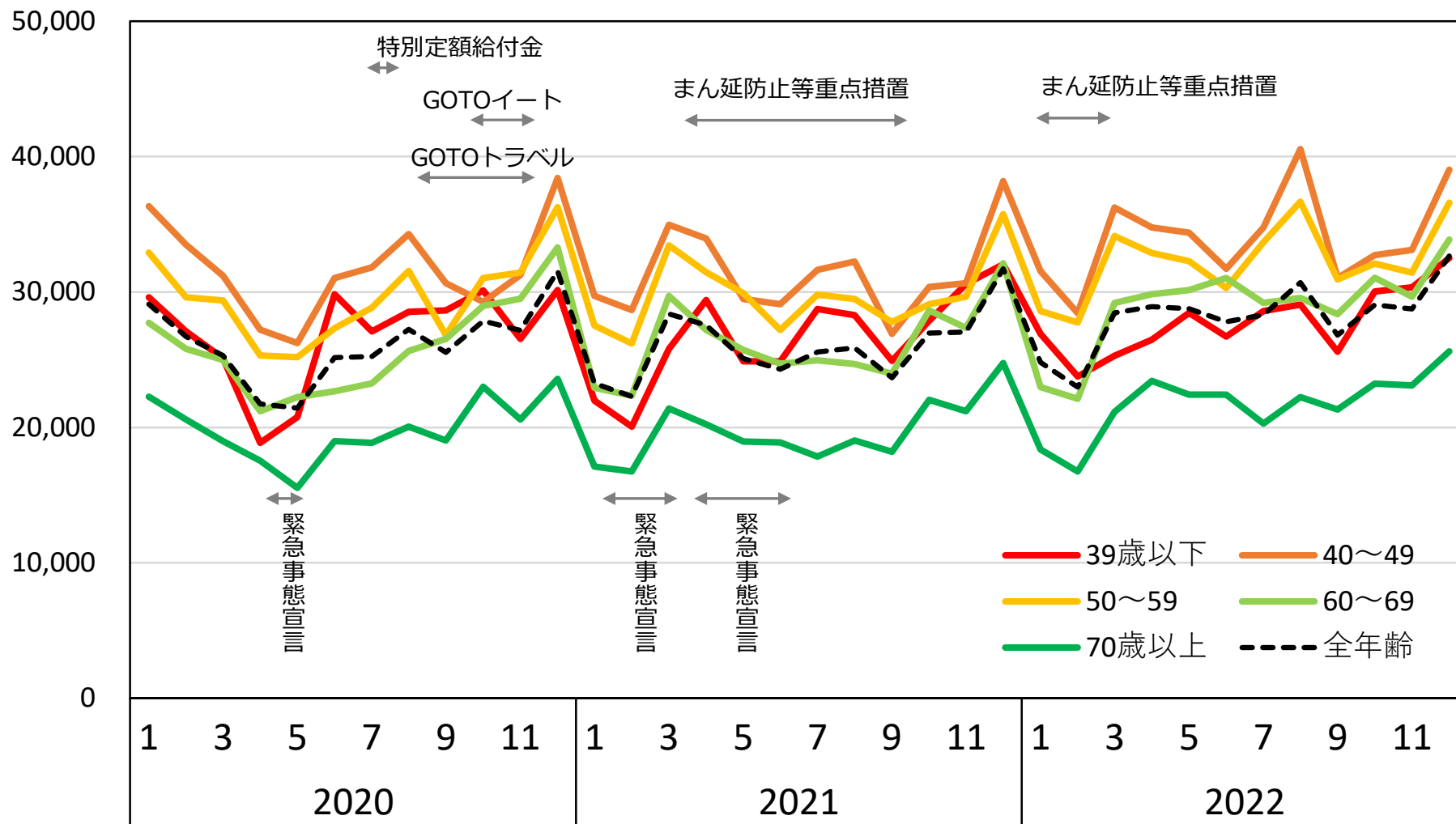


➡ 新旧基準間の差に特段の傾向は見られない

※ 棒グラフは差分 (2020年基準 - 2015年基準)

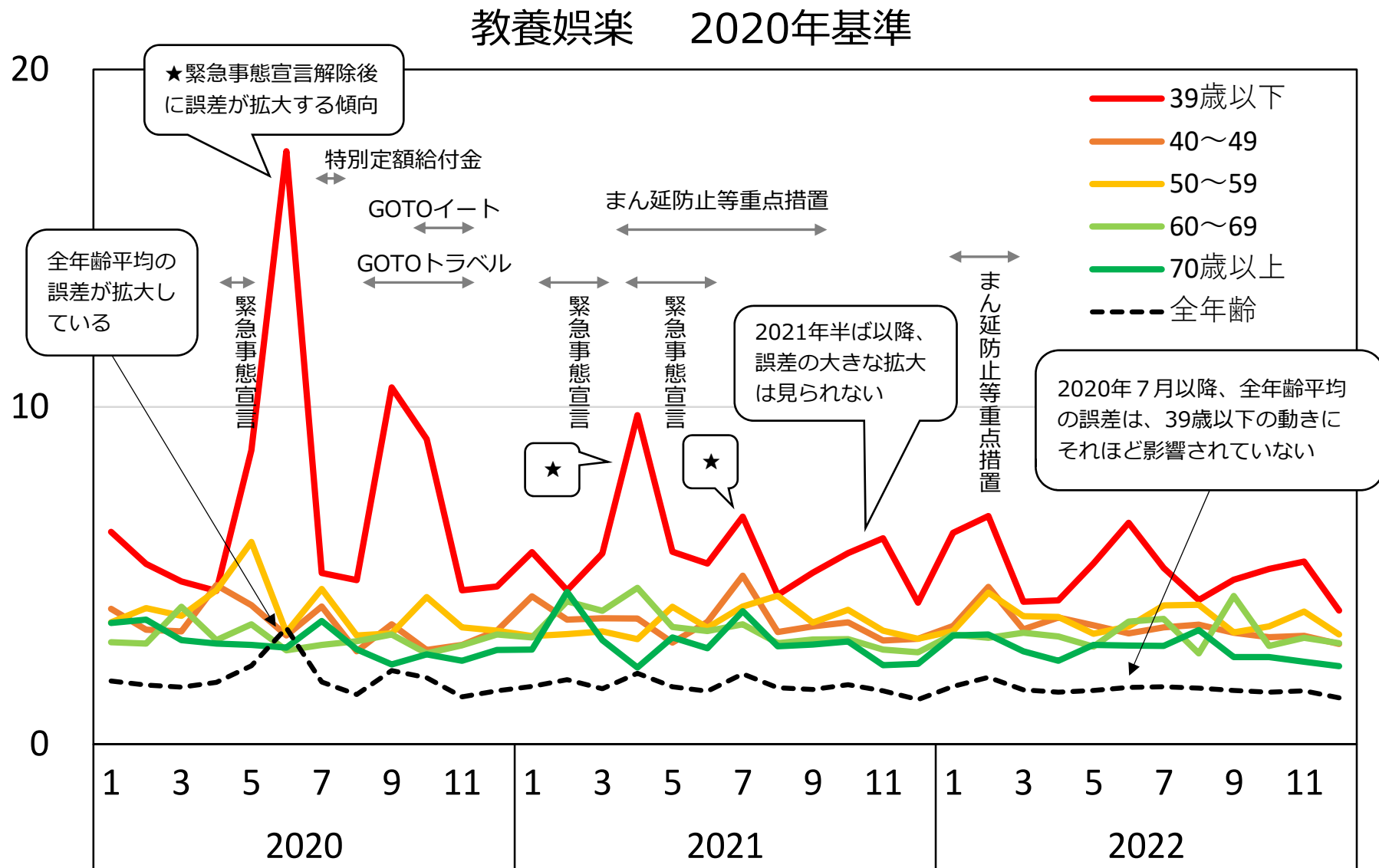
年齢階級別 合成金額（円） - 二人以上の世帯 -

教養娯楽 2020年基準



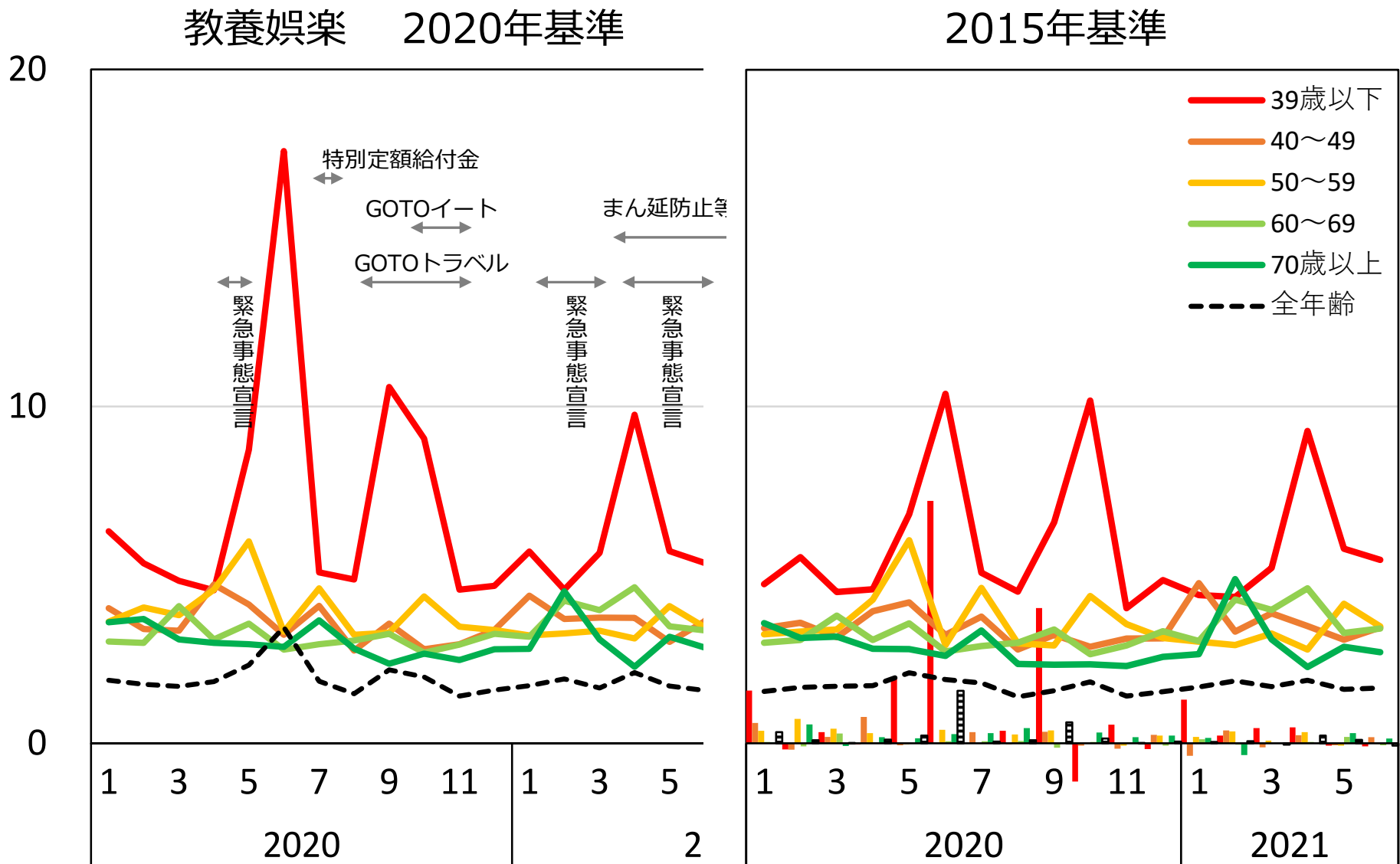
70歳以上の合成金額は、他の年齢階級と比べて低い

年齢階級別 標準誤差率 (%) - 二人以上の世帯 -



➡ 39歳以下の区分で、緊急事態宣言解除後に誤差が拡大する傾向が見られる

年齢階級別 標準誤差率 (%) - 二人以上の世帯 -



➡ 2021年以降、新旧基準間に大きな差は見られない

※ 棒グラフは差分 (2020年基準 - 2015年基準)

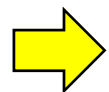
目次

1. 今回の分析の目的
2. 世帯主の年齢階級別誤差率
 1. 区分別ウエイト、合成金額及び誤差率の比較
 2. コロナ禍の行動制限等の影響
3. 年平均誤差率の推移
3. まとめ

2020年基準の誤差率の推移

10大費目別 月次 標準誤差率※ -年平均- (%)

	総世帯			二人以上の世帯			単身世帯		
	2020年	2021年	2022年	2020年	2021年	2022年	2020年	2021年	2022年
消費支出	0.9	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	2.1	2.3	1.9
食料	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	1.6	1.6	1.6
住居	3.5	3.3	3.2	4.3	4.1	4.3	5.8	5.1	4.6
光熱・水道	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.9	1.9	2.0
家具・家事用品	2.4	2.7	2.5	2.6	2.8	2.6	6.3	7.3	6.6
被服及び履物	2.7	2.5	2.6	2.9	2.7	2.8	6.9	6.6	6.4
保健医療	2.8	3.1	2.7	3.1	3.2	3.0	6.4	8.2	6.1
交通・通信	3.0	3.1	2.9	3.3	3.2	3.1	7.4	8.0	6.3
教育	3.9	3.8	3.9	3.9	3.8	3.9	-	-	-
教養娯楽	1.7	1.7	1.6	1.9	1.7	1.6	3.6	4.1	4.0
その他の消費支出	2.1	2.3	2.3	2.0	2.3	2.3	6.0	6.2	5.8



総世帯、二人以上の世帯及び単身世帯について、誤差率は各年で安定しており、調査の合成比率を最適化したことなどによる結果精度の改善の効果は継続していると考えられる。

※ 単純なブートストラップ法により算出した2020年1月から2022年12月までのそれぞれの標準誤差率を単純平均したもの

目次

1. 今回の分析の目的
2. 世帯主の年齢階級別誤差率
 1. 区分別ウエイト、合成金額及び誤差率の比較
 2. コロナ禍の行動制限等の影響
 3. 年平均誤差率の推移
3. まとめ

まとめ

基準改定の改善効果を確認するため、新旧両基準について、世帯主の年齢階級別の誤差率を世帯の種類別に比較した。また、誤差率の推移を確認し、コロナ禍の行動制限等が誤差に与えた影響を確認した。

その結果、調査の合成比率を最適化することなどにより、誤差率の改善を図った総世帯及び単身世帯については、おおむねすべての年齢階級で改善傾向が見られ、そのうち39歳以下の誤差率が最も改善していた。

二人以上の世帯については、39歳以下では誤差率が拡大していたが、改善している年齢階級も見られた。なお、コロナ禍の行動制限等が2020年の誤差に影響を与えている可能性が考えられる、「保健医療」、「交通・通信」及び「教養娯楽」について、月次の誤差率の推移を確認したところ、おおむね2021年以降は、新旧基準の差に大きな違いは見られなかった。

最後に、2020年基準の誤差率を2022年まで算出して確認したところ、誤差率は各年で安定しており、調査の合成比率を最適化したことなどによる結果精度の改善の効果は継続していることが考えられた。